

日刊 動労千葉

81.7.23
No. 800

国鉄千葉動力車労働組合
千葉市要町二一八(動力車会館)
(鉄電)二九三五〜六(公衆)四三(22)七二〇七

三里塚・ジェット闘争貫徹！「国鉄35万人体制」粉碎！

千葉地検・県警による 人権無視・不当な取調べを糾弾する！

「デッチあげ・告発」の動労本部、革マル反動分子を訴すな！支援共闘は、津田沼駅前から「信ビル」へ向け、怒りの糾弾デモに起った。
(7月18日、津田沼駅前)



6名の仲間を即時釈放せよ！

全組合員の皆さん。全ての千葉県民の皆さん。全国の闘う労働者の皆さん。動労千葉・津田沼支部の片岡支部委員長以下六名の仲間が動労「本部」反動分子の告発・告発によって権力に不当逮捕されたからすでに約十日間が経過しました。六名の仲間は、連日の猛暑と検事と刑事による厳しい取り調べに、毅然として完全黙秘で闘い抜いています。権力の卑劣な人権を無視した取り調べの実態を明らかにし、全ての皆さんが動労千葉と共に糾弾の闘いに立ち上ることを訴えます。

一日、八時間〜九時間にも 及ぶ異常な取り調べ

千葉県警・千葉地検は、動労「本部」反動分子による告発・告発を動労千葉つぶしの絶好のチャンスとして極めて異常な執念をもって六名の仲間に対する取り調べを強行しています。

①弁護士接見を禁止し、②差し入れ品を拒否し、あるいは遅らせて届けたりして、六名の仲間への孤立感と動揺をねらった攻撃をかけています。

動労千葉は、顧問弁護士団を先頭に、このような検察当局の攻撃に対し、『準抗告申し立て』『接見禁止の解除の申し立て』などを行ない、ほぼ連日、六名の仲間との弁護士接見をかちとり、差し入れをかちとっています。

そしてこの間の弁護士接見で明らかになったことは、つぎのような人権無視・不法・不当な取り調べが行なわれていることが明らかとなりました。

①連日、八時間〜九時間近い取り調べを強行。
②完全黙秘の闘いに対し、コズク・机をたたくなどの強迫。

③「組合を脱退しろ」「反省して役員をやめろ」「しゃべらなければ十五年は出られないぞ」など動労千葉つぶしを直接狙った追及。

④「証人はいっばいいる。起訴は間違いない」「お前の奥さんは、職場をやめさせられた」などのありもしないデマとベテンで動揺を狙う。

私たちは、こうした千葉地検・県警の異常なま

での動労千葉破壊を狙った人権無視・不法・不当な取り調べに対し、完全黙秘で闘い抜いている六名の仲間と連帯して、断固として抗議し、直ちにこうした異常な取り調べを中止し、六名の仲間を即時釈放するよう要求しなければなりません。

十名の組合員・家族を権力に 売り渡した動労「本部」革マル分子 嶋田・斎藤(吉)を絶対に許さない！

動労千葉破壊の一点で権力と相通じ、自ら「暴行事件」をデッチ上げ、告発・告発し、権力に強制家宅捜索をやらせ、六名を逮捕させ、二二・二三日には、他の四名にも出頭命令―逮捕攻撃をかけさせ、十名の組合員・家族に大きな苦しみを与えている動労「本部」及び革マル分子嶋田誠・斎藤吉司・佐藤次男を絶対に許すことはできません。われわれ、動労千葉一三〇〇組合員・家族は、一丸となって十名の仲間とその家族を守り抜き、即時釈放、起訴攻撃粉碎、不当弾圧・介入粉碎をなんとしてもかちとろうではないか。

社会党県本部が県議団を先頭に 千葉県警に抗議の申し入れ

社会党県本部は、秋谷昇県議をはじめ社会党県議員団を先頭に、昨日(二二日)千葉県警警備部長に対して、われわれ動労千葉の六名の仲間の不当逮捕について抗議の申し入れを行なった。

社会党抗議団は、つぎの二点について申し入れを行なった。

一、今回の問題は、労働組合間の紛争であり、ただちに介入をやめること。

二、六名の動労千葉組合員を直ちに釈放すること。千葉県労連においても、傘下各組合に対し、動労千葉に対する権力の弾圧・介入反対、六名の即時釈放の署名要請を指示し、取り組みが開始されている。

このように県下各団体・労組での取り組みはもとより、全国からの激励と権力への抗議の行動が一日と拡大している。

全組合員・家族の強固な団結で組織破壊攻撃を粉碎せよ！